

2021年1月18日

静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号
静岡鉄道株式会社

すべての踏切における「踏切支障報知装置（押しボタン）」設置完了のお知らせ

静岡鉄道株式会社（本社：静岡市葵区鷹匠、取締役社長：今田智久）は、静岡鉄道静岡清水線において安全対策の一つとして進めてきた踏切支障報知装置の設置を、この度すべての踏切において完了したことをお知らせいたします。

踏切支障報知装置とは、踏切内で異常が発生した場合に、踏切に設置された押しボタンを操作することで接近する列車に異常を知らせることができる装置です。自動車が通行する踏切にはすでに設置しておりましたが、歩行者のみ通行可能な踏切にも本装置を設置し、踏切通行における安全対策を強化いたしました。

今後は、静岡清水線の踏切において異常や危険を感じた際に、躊躇なくこのボタンを押してご自身や周囲の方の安全に役立てていただくよう周知してまいります。

また、踏切内の安全対策については、継続して警報機等の更新や全方向踏切警報灯の設置などを実施してまいります。

記

1. 実施内容

踏切支障報知装置の設置 2020年度5箇所完了

2. 踏切数

49箇所（内 自動車が通行可能な踏切 37箇所）

3. ボタンの使用方法

踏切内での異常や危険を感じるがあった場合には、押しボタンを強く押してください
踏切に接近する列車に対して、付近に設置された信号機が停止の信号を現示します
ただし、接近した距離によっては停止できない場合がございます

4. その他の踏切における安全対策

- ・踏切障害物検知装置の設置 9箇所（自動車の進入等を検知し接近列車へ知らせるもの）
- ・オーバーハング形警報機の設置 2箇所（大型の警報機で視認性を向上）※本年度1箇所実施
- ・全方向踏切警報灯の導入 各所（全方向から見える警報灯を設置）

以上

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします

総務部

広報・ブランディング課

直通電話 : (054) 254-5129

FAX : (054) 255-8816

Eメール : stksoumu@shizutetsu.co.jp

【参考】



設置した押しボタン（七ツ新屋第1踏切道）



押しボタン



施工前：七ツ新屋第1踏切道



ボタンが押されると踏切付近につけられた信号が点灯し列車に停止を知らせる